

2008年4月1日

2008年度新入社員に対する挨拶（要旨）

社長 米倉 弘昌

当社は、「グローバルカンパニーとしての飛躍を目指して、株主の期待する事業付加価値を生み出す高収益体質を確立・堅持し、持続する成長力を確保する」という基本方針のもと、2007年度から3カ年の中期経営計画を推進している。最優先課題である、サウジ・アラムコ社と推進中の世界最大級の石油精製・石油化学統合コンビナート事業計画（ラービグ計画）の完成により、当社のグローバル化は一層進展する。世界規模の事業展開を行う会社で働く皆さんに、3つのことを望みたい。

「社会から信頼される人になる」こと

当社の諸先輩は、住友の事業精神「信用を重んじ確実に旨とする」を尊重し、地道に社会からの信頼を築き上げてこられた。そうした努力があって、現在、当社は国内外で事業拡大を進めることができるのであり、今後もその信頼を大切にしていかなければならない。一人ひとりが遵法精神と高い倫理観を持ち、正直で誠実に行動されることをお願いしたい。

「企業の社会的責任を果たす」こと

当社は、世界市場でのプレゼンスが増してきていることから、グローバルカンパニーとして、経済・環境・社会の全ての面でバランスのとれた活動を実践していく必要がある。当社には「事業は自ら利益を得るものであるとともに、社会に対しても利益あるものでなければならない」という住友の事業精神が脈々と流れている。企業としての社会的責任を果たすことを常に念頭において、業務に取り組んでいただきたい。

「グローバルな視野を持って仕事に取り組む」こと

海外展開の進行により、海外で活躍する機会や異なる文化・価値観を持つ人々と共に仕事をする機会が広がっている。これまでの考え方や経験にとらわれることなく、グローバルな視野を持って仕事をするとともに、異なった考え方や文化に大いに関心を持ち、それらを理解し学ぶことで、自らを高める努力を続けていただきたい。

以上

[ご参考]

入社式 : 本社（東京）にて 10時00分から  
新入社員数：139名